

リビングプレス Living Press



AEDの使用でつなく命のボタン

日本では年々、心臓突然死者数が増加し、年間約7万人もの命が失われています。その原因として生活の乱れによる生活習慣病患者の増加や、高齢化、運動中に起こる血液中のミネラルバランスの崩壊などがありますが、初めての不調で起こることもあり予知が難しいのが現状です。そうした命を救うのに重要な役割を果たすのが「AED」です。いざというときのために、AEDの大切さと使い方を学びましょう。

point
1

AEDのキホン Q&A

※1 Q AEDってなに?

A 不整脈で心停止を起こした心臓に電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための救急医療機器です。一般市民が使用できる機器として2004年に導入されました。

※1 「Automated External Defibrillator」の略。自動体外式除細動器のこと
※2 けいれんを起こし血液を流すポンプ機能を失った心臓(=心室細動)

Q どんなときに必要?

A 人が倒れ、意識がなく、普段とおりの呼吸がないとき判断に迷っても躊躇せず、心停止の可能性を疑って対応にあたるのが大切です。

Q どこにある?

A 駅や空港、学校、行政施設、商業施設、大規模な集合住宅など近くの設置場所はウェブサイトやアプリでも確認できます。



設置例

日本救急医療財団 全国AEDマップ <https://www.qqzaidanmap.jp>

Q 電気ショックが必要かどうか判断する?

A AEDが自動的に不整脈を診断し判断してくれます。AEDが必要だと判断した場合のみ準備が始まるので安心です。

Column

一般市民が使用する大きな意味とは?

心停止では電気ショックの使用が1分遅れるごとに救命率が約10%低下すると言われています。救命するには5分以内の電気ショックが必要というデータもありますが、119番通報をしてから救急車が到着するまでにかかる時間は平均8.6分。私たち一般市民が1分1秒でも早くAEDで電気ショックを行うことが重要なのです。

point
2

救命対応に必要な3ステップ

Step

① 119番通報とAED要請

倒れている人を発見したら、肩をたたくなどして反応を確認してから119番通報。大声で周囲に協力を呼びかけ、AEDを持ってきてもらう。



Step

② 心肺蘇生(胸骨圧迫)開始

普段通りの呼吸がなければ心停止の可能性があると判断し、胸骨圧迫(心臓マッサージ)をただちに開始。



手の位置: 胸(両乳頭)の真ん中
押し方: 手の付け根で深さ約5cmで沈むくらいしっかり圧迫
速さ: 1分間に100~120回のペース・2分継続して行う

Step

③ AEDの使用

AEDが届いたら電源を入れてAEDの音声ガイドに従うだけ。

- 1 電源をON
- 2 音声ナビに従い傷病者の衣服を取り除いて、パッドを胸に貼る
- 3 AEDの自動解析で電気ショックが必要と判断した場合には、音声ガイドに従い、周囲に離れるよう呼びかけてから「ショックボタン」を押す



救急隊到着まで「胸骨圧迫」と「電気ショック」を2分ごとに繰り返す(AEDが電気ショックを必要と判断しなかった場合は、胸骨圧迫を継続)

※3 救急隊が到着するまでAEDの電源は入れたまま、電源パッドも貼ったままにしてください





巨大地震にも耐える 強い構造体だから安全

ボックスラーメン構造とは、柱と梁を一体化させた骨組みで建築物を支える構造のこと。強靱な鉄鋼の柱と梁を高強度・高精度な溶接でボックス型に一体化することで、ユニット単体でもシェルターともいえる強度を発揮します。そこに、複数のユニット同士を頑強に接合することでスクラム効果が生まれ、構造体はより強固に。さらに、ユニットを覆う外壁には高性能耐力外壁を採用し、複合的に地震動を吸収。住宅そのものが耐震装置としての役割を果たしています。

ボックス
ラーメン
構造



ご存知ですか？

皆さまの安全・安心をお守りする セキスイハイムのユニット工法

セキスイハイムでは、皆さまの暮らしをお守りする、丈夫かつ高品質な建物の提供に努めております。

こうした考えのもと、全住戸に採用しているのが「ユニット工法」という構造形式。

これはボックスラーメン構造とも呼ばれ、超高層ビルの建築にも用いられています。



← 動画もチェック！



家づくりの工程のほとんどを先進工場で行う。工場で作られたユニットは現場に運ばれ組み立てられていく。



工場生産だから 高精度・高品質

鉄骨の切断から溶接、穴あけ加工まですべてコンピュータで精緻にコントロールするなど、すべて先進工場で行われるため品質にばらつきがなく、安定した商品をつくることができます。また、セキスイハイムでは家づくりの工程の大半を工場で行っております。徹底した管理のもと、設備まで組み込まれたユニットを建築現場に運びほぼ1日で組み立てるので、風雨にさらすことなく部材の品質を守れるのです。



戸建て住宅と 同じ品質だから安心

セキスイハイムでは長年、戸建て住宅の施工で培った技術を賃貸住宅にも活用してまいりました。今後も、地震や災害に強く安心して長く住み続けられる、高い住性能を実現する住まいを提供してまいります。